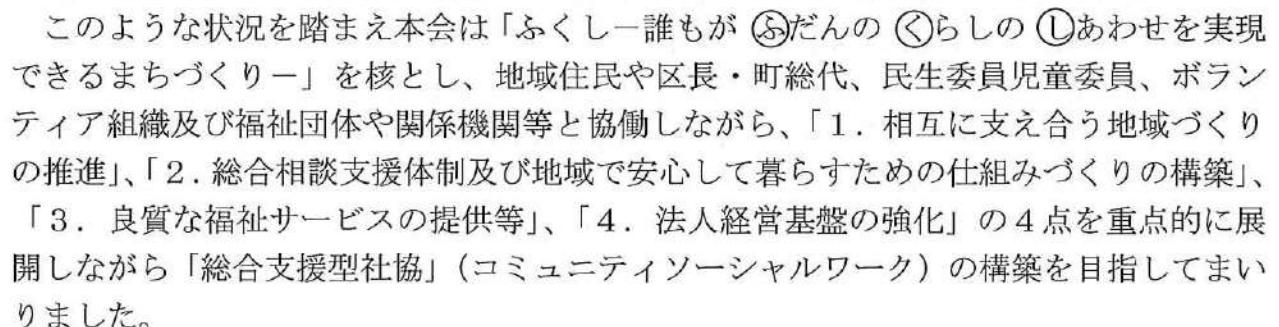


平成30年度江南市社会福祉協議会事業報告

[総括]

「少子高齢・人口減少社会」と「人生百年時代」を迎え、人々のライフステージや地域社会の構造が激変し、「生活のしづらさ」が増しています。国は「地域共生社会の実現」を掲げ、子ども・高齢者・障がい者など支え手と受け手の関係を越えて、地域をともに創っていく社会を目指しています。

本会は地域福祉推進の中核的な組織として、平成30年度から平成35年度（令和5年度）までの6年間を計画とした市行政の総合的な福祉施策の指針を示す「地域福祉計画」と本会の「地域福祉活動計画」を一体的に推進し、地域づくりを含めた包括的支援体制が構築されるよう計画の重点プロジェクトや基本施策を展開してきました。

このような状況を踏まえ本会は「ふくしー誰もが  だんのくらしのあわせを実現できるまちづくり」を核とし、地域住民や区長・町総代、民生委員児童委員、ボランティア組織及び福祉団体や関係機関等と協働しながら、「1. 相互に支え合う地域づくりの推進」、「2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築」、「3. 良質な福祉サービスの提供等」、「4. 法人経営基盤の強化」の4点を重点的に展開しながら「総合支援型社協」（コミュニティソーシャルワーク）の構築を目指してまいりました。

[重点目標の実施状況及び成果]

1. 相互に支え合う地域づくりの推進

(1) 実施状況

平成30年度から平成35年度（令和5年度）の6年間を策定期間とする市行政の「地域福祉計画」と本会の「地域福祉活動計画」を一体的に推進し、包括的支援体制の構築や地域づくりの基盤強化、拠点整備に努めた。

市から「江南市生活支援体制整備事業」を受託し、日常生活圏域（地域包括圏域3か所）に生活支援コーディネーターを配置し、関係者と協働し地域づくりを推進した。

(2) 成果及び今後の対応

○「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を一体的に推進し、市行政や地域住民等と地域づくりを含めた包括支援体制が構築されるよう計画の重点プロジェクトや基本施策を展開した。

○生活支援体制整備事業において日常生活圏域ごとに配置した生活支援コーディネーターが、市行政や地域包括支援センターと連携し、日常生活圏域（地

域包括圏域3か所)での地域づくりの支援として、関係者との地域情報共有及び分析、ネットワーク体制の構築、各種コーディネート(「講師派遣型介護予防運動教室」、「認知症徘徊者声かけ訓練」、「認知症サポーター養成講座」、「ふれあい・いきいきサロン事業」)を行い、地域の居場所づくり等、地域力の向上につながった。

藤ヶ丘地区(江南団地)では、都市再生機構(UR)と江南団地自治会が中心となり常設型コミュニティスペース「ゆう愛ステーションはなみずき」の運営を支援し、月1回「くらしの相談日」を開催した。

○市行政が老人福祉センター内の旧ウオセン跡地を整備し、「地域交流スペースみらい」を開設した。また、社協ボランティアセンターの移設と拠点整備を同時に行い、地域福祉推進の拠点整備を行った。

○ふれあい・いきいきサロン(地域の通いの場、居場所づくり活動)において、30年度は新規4か所の立ち上げに寄与した。

○江南市民生委員児童委員協議会「地域福祉部会」の事務局として、視察研修、ふくし江南ふれあいまつりのブース出展の支援を行い、民生委員児童委員活動の社会的な認知向上の寄与に努めた。

2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築

(1) 実施状況

関係機関、団体等と連携し、社会的支援が必要な方への総合相談支援体制の充実や地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

○社協内部研修及び3市2町社会福祉協議会連絡協議会における職員研修により、法人運営部門、地域福祉活動推進部門、障がい者相談支援事業部門、生活困窮者自立相談支援事業部門、居宅介護支援事業部門、訪問介護事業部門の連携を強化し、総合的な個別支援や地域支援を展開するための体制づくりに努めた。

○市行政より「生活困窮者自立相談支援事業」を受託し、生活困窮者に対する包括的かつ個別的な支援体制の構築を行った。

○市行政より「基幹相談支援センター」の一部業務を受託し、障害者相談支援センターを適切に運営し、障がい者の地域自立生活を支援した。

○愛知県社会福祉協議会より「日常生活自立支援事業」を受託し、権利擁護が必要な自己判断能力が乏しい方と契約し、書類預かりや金銭管理を実施するとともに、成年後見センターの適切な運営を行い、権利擁護支援事業の推進に努めた。

3. 良質な福祉サービスの提供等

(1) 実施状況

個人の尊厳を基本とし、利用者の利益を保護し、質の高いサービス提供に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

○介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型独自サービス及び訪問型定率サービスを実施した。

○介護保険法及び障害者総合支援法の指定訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者として、訪問介護員及び介護支援専門員等の人材確保及び研修を実施し、サービスの向上に努めた。

4. 法人経営基盤の強化

(1) 実施状況

経済社会情勢の変化に対応した主体的な法人経営に努めるとともに、社会福祉法人制度改革に対応した経営組織の基盤強化に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

○組織内部で「事業検討委員会」を立ち上げ、事業の方向性や本会独自の社会福祉充実計画の作成に向けた検討を行い、法人としての基盤強化に努めた。

○「本会としての方針を検討するためのプロジェクト（江南市社協『ZERO-P』ゼロプロジェクト）」によって作成したスローガン、理念及び行動規範を基に、行動規範を毎日唱和し職員の意識を高めるとともに、通常業務の資質向上に努めた。

[各種施策及び事業]

1. 法人運営事業

本会の法人運営の基盤強化や円滑な運営に努めた。

(1) 理事会、評議員会及び監事会等の開催状況

理事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
<p>理事会 理事 出席 8 名 欠席 3 名 監事 出席 2 名</p>	<p>平成 30 年 5 月 24 日 江南市老人福祉センター</p>	<p>第 4 号 平成 29 年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第 5 号 平成 29 年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について 第 6 号 平成 30 年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算 (第 1 号) について 第 7 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について 第 8 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の推薦について 第 9 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の選任について 第 10 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員会の招集事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p>
<p>理事会 理事 出席 11 名 欠席 0 名 監事 出席 2 名</p>	<p>平成 31 年 3 月 19 日 江南市老人福祉センター</p>	<p>第 1 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の推薦について 第 2 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会定款の一部変更について 第 3 号 平成 30 年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算 (第 2 号) について 第 4 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会職員就業規則等の一部改正について 第 5 号 平成 31 年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画 (案) について 第 6 号 平成 31 年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支予算 (案) について 第 7 号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員会の招集事項について 報告第 1 号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p>

評議員会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
評議員会 評議員 出席13名 欠席3名 監事 出席2名	平成30年6月7日 江南市老人福祉センター	第3号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会理事の選任について 第4号 平成29年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第5号 平成29年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について 第6号 平成30年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第1号)について
評議員会 評議員 出席14名 欠席3名 監事 出席0名	平成31年3月28日 江南市老人福祉センター	第1号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会定款の一部変更について 第2号 平成30年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第2号)について 第3号 平成31年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画(案)について 第4号 平成31年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について

監事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
監事会	平成30年5月17日 江南市老人福祉センター	・平成29年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について ・平成29年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について
	平成30年11月26日 江南市老人福祉センター	・平成30年度江南市社会福祉協議会一般会計収支計算書の中間監査について

評議員選任・解任委員会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
評議員選任・ 解任委員会 出席3名 欠席1名	平成30年5月29日 江南市老人福祉センター	・社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の選任について

評議員選任・ 解任委員会 出席4名 欠席0名	平成31年3月20日 江南市老人福祉センター	・社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の選任について
---------------------------------	---------------------------	-----------------------------

(2) 社協会員の募集

区長・町総代のご協力のもと、一般会員、特別会員、法人会員の募集に努めた。また、市内福祉施設において施設会員、その他関係団体等においては特別会員の募集に努めた。

(3) 共同募金運動への協力

江南市共同募金委員会と連携し、10月1日から12月31日の共同募金運動期間に、区長・町総代のご協力のもと、戸別募金、法人募金を募った。市内学校においては学校募金へのご協力をお願いし、またボランティアのご協力により市内スーパーや江南駅等での街頭募金を行い、地域福祉財源の確保に努めた。

(4) 職員衛生委員会の実施及び産業医による職員の健康管理の実施

職員衛生委員会を月1回開催し、産業医による職員面談、健康診断結果等の健康指導、衛生教育研修会の実施及び職員の労働環境の改善等の協議を行った。また労働者の心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）の義務化に伴い、ストレスチェック検査を実施した。

産業医による職員面談：14名

衛生教育研修会：①健康診断結果表の見方について（7月）

②睡眠が及ぼす影響について（1月）

職員の健康診断：産業医による健康診断結果の把握：（11月）

ストレスチェック検査：69名（全職員）

(5) 3市2町社会福祉協議会連絡協議会による連携

3市2町社会福祉協議会連絡協議会（江南市、犬山市、岩倉市、扶桑町、大口町）の緊密な相互連携により、30年度幹事社協として各種情報交換及び研修企画の運営を行った。

開催日：①8月10日 ②9月13日 ③11月20日 ④2月12日

会議名等：①会長・事務局長会議

29年度事業報告・決算、30年度事業計画・予算等

②第1回職員研修会 「社会福祉協議会が目指す地域包括ケアについて」

講師：前山憲一氏（半田市社協事務局長）

③第2回職員研修会 「野中式事例検討について」

講師：前山憲一氏（半田市社協事務局長）

④第3回職員研修会 「地域づくり推進における生活支援体制整備事業の基盤体制について」

3市2町の生活支援体制整備事業の取組内容の情報共有及び意見交換

(6) 尾張部社会福祉事業連絡協議会による連携

尾張部各市（23市）の社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会の緊密な相互連携により、会長市として研究協議会や各種情報交換及び研修の企画運営を行った。

開催日：①4月6日 ②4月17日 ③6月28日 ④7月25～26日

⑤9月19日 ⑥10月16～17日 ⑦12月12日 ⑧1月17日 ⑨2月21日

会議名等：①監事会及び第1回役員会 ②総会 ③第1回事務局長会議

④事務担当者先進地視察研修 ⑤第2回役員会 ⑥県外視察研修会

⑦第2回事務担当者研究協議会 ⑧臨時役員会事務局長会議及び研究協議会

⑨第2回事務局長会議

県外視察研修会（江南市社協による企画運営）

開催日：10月16～17日

視察地：茅野市社会福祉協議会及び伊那市社会福祉協議会（長野県）

内容：1日目 地域共生社会について（茅野市社協）

2日目 コミュニティスクールへの取組について（伊那市社協）

参加者：各市の社協会長、事務局長、民協会長

(7) 社協職員内部研修の実施

平成29年度に地域福祉計画・地域福祉活動計画を一体的に策定し、社協職員として計画推進の意義や推進体制の整備を行うとともに、外部講師を招いて職員のスキルアップ研修の実施、組織内の連携強化を図ることを目的に行った。

開催月：4月、6月、7月、8月、10月、12月、1月、2月、3月（計9回）

※9月、11月は3市2町社協の職員研修会に置き換えて実施

内容：地域福祉計画の進捗状況（地域福祉懇談会の開催）、先進地社協の取組について、野中式事例検討会による職員のスキルアップについて等

部門：法人運営部門、地域福祉部門、障がい相談・権利擁護部門、生活困窮者相談部門、居宅介護支援部門、訪問介護部門

外部講師：前山憲一氏（半田市社協事務局次長）

6月、7月、8月、10月、12月

※9月、11月は3市2町社協の職員研修会講師として依頼

(8) 社会福祉士実習の実習生の受け入れ

国家資格である社会福祉士の受験資格取得のための現場実習の受け入れを行い、学生への指導、評価を実施した。

受け入れ実施校：日本福祉大学5名

受け入れ日数：1名あたり8日～24日

2. 地域福祉活動事業

地域におけるふれあい・いきいきサロンの推進、単独移動困難者への移送サービスの実施、民生委員児童委員協議会の活動に対して支援を行った。

(1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの実施

小地域（28サロン）において、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が気軽に出かけて仲間づくりを行ったり、活動等を行うことでいきいきと暮らせるための居場所づくりを実施した。

*ほのぼのサロン（H15.6～）

開催回数：月2回（第2・4金曜日）

開催場所：老人福祉センター

30年度実績：延べ821名（23回開催、平均35.6名）

*ひまわりサロン（H16.7～）

開催回数：月1回（第3水曜日）

開催場所：草井地区学習等供用施設

30年度実績：延べ327名（12回開催、平均27.2名）

*3R宮田サロン（H18.8～）

開催回数：月1回（第3木曜日）

開催場所：宮田地区学習等供用施設

30年度実績：延べ222名（12回開催、平均18.5名）

*菜の花サロン（H15.4～） ※社協の支援開始はH19.4～

開催回数：月1回（第4木曜日）

開催場所：布袋ふれあい会館

30年度実績：延べ381名（11回開催、平均34.6名）

*さわやかサロン（H20.5～）

開催回数：月1回（第3水曜日）

開催場所：古西公民館

30年度実績：延べ192名（12回開催、平均16.0名）

*ジョイフルサロン（H20.7～）

開催回数：月1回（第4水曜日）

開催場所：ジョイフル江南

30年度実績：延べ278名（12回開催、平均23.1名）

*上奈良気ままサロン（H22.1～）

開催回数：月1回（第2月曜日）

開催場所：上奈良公民館

30年度実績：延べ506名（12回開催、平均42.1名）

- *ふれあいサロンなごやか (H23. 4～)
開催回数：月1回 (第1水曜日)
開催場所：山王集会所
30年度実績：延べ339名 (11回開催、平均30.8名)
- *生き・いき・サロン前野 (H24. 10～)
開催回数：月1回 (第3金曜日)
開催場所：前野公民館
30年度実績：延べ516名 (12回開催、平均43.0名)
- *ふれあいサロン藤ヶ丘 (H25. 11～)
開催回数：月1回 (第4水曜日)
開催場所：江南団地集会所
30年度実績：延べ784名 (12回開催、平均65.3名)
- *ふじの郷サロン (H26. 1～)
開催回数：月1回 (第4火曜日)
開催場所：ケアハウスふじの郷
30年度実績：延べ289名 (12回開催、平均24.0名)
- *新開・ふれあいサロン (H26. 5～)
開催回数：月1回 (第2金曜日)
開催場所：新開公民館
30年度実績：延べ276名 (12回開催、平均23.0名)
- *サロンいまいちば (H26. 5～)
開催回数：月2回 (第2・3木曜日)
開催場所：今市場公会堂
30年度実績：延べ244名 (25回開催、平均9.7名)
- *サロンふじの会 (H26. 10～)
開催回数：月2回 (第2・4火曜日)
開催場所：宮田地区学習等供用施設
30年度実績：延べ1,077名 (23回開催、平均46.8名)
- *サロンあじさいの会 (H26. 10～)
開催回数：月1回 (第4水曜日)
開催場所：般若町公民館
30年度実績：延べ336名 (12回開催、平均28.0名)

*小脇生きいきクラブ (H26. 10～)

開催回数：月6回 (毎週火曜日及び第2・4土曜日)

開催場所：小脇会館

30年度実績：延べ1, 260名 (68回開催、平均18. 5名)

*力長サロン (H27. 4～)

開催回数：月4回 (第1、3水曜日、第2・4木曜日)

開催場所：力長公会堂

30年度実績：延べ832名 (41回開催、平均20. 2名)

*北山サロン (H27. 7～)

開催回数：月4回 (第1～4月曜日)

開催場所：北山公民館

30年度実績：延べ536名 (47回開催、平均11. 4名)

*なか般若サロン (H27. 10～)

開催回数：月1回 (第2水曜日)

開催場所：中般若会館 (学供)

30年度実績：延べ176名 (12回開催、平均14. 6名)

*サロン前飛保 (H28. 4～)

開催回数：月1回 (第2金曜日)

開催場所：前飛保公会堂

30年度実績：延べ432名 (12回開催、平均36. 0名)

*安良健康サロン (H29. 5～)

開催回数：毎週金曜日

開催場所：安良会館

30年度実績：延べ1, 344名 (48回開催、平均28. 0名)

*そもと貯筋の会 (H29. 6～)

開催回数：毎週金曜日

開催場所：曾本会館

30年度実績：延べ630名 (48回開催、平均13. 1名)

*南山サロン (H30. 2～)

開催回数：月2回 (第2・4火曜日)

開催場所：南山公民館

30年度実績：延べ435名 (24回開催、平均18. 1名)

*ピッコロサロン (H30. 2~)

開催回数: 月2回 (第2月曜日、第4水曜日)

開催場所: 喫茶ピッコロ

30年度実績: 延べ626名 (24回開催、平均26.1名)

*木曜サロン (H30. 2~)

開催回数: 月2回 (第1・3木曜日)

開催場所: 宮後上公会堂

30年度実績: 延べ340名 (24回開催、平均14.1名)

*観音寺サロン (H30. 4~) ※30年度新規立ち上げ支援

開催回数: 月1回 (第1水曜日→2月から第1木曜日)

開催場所: 観音寺 (小折町)

30年度実績: 延べ480名 (12回開催、平均40.0名)

*ゆう愛ステーションはなみずき (H30. 4~) ※30年度新規立ち上げ支援

開催回数: 水曜・日曜・祝日等を除く毎日

開催場所: ゆう愛ステーションはなみずき (江南団地商店街)

30年度実績: 延べ6,601名 (235回開催、平均28.1名)

*サロン野白 (H31. 2~) ※30年度新規立ち上げ支援

開催回数: 毎週月曜・火曜・金曜日

開催場所: 野白区公会堂

30年度実績: 延べ296名 (25回開催、平均11.8名)

(2) ふれあい・いきいきサロンスタッフ交流会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に情報交換や意見交換を目的に、交流会を実施した。

開催日: 1月21日

開催場所: KTXアリーナ

内容: 事務局説明、関係機関からの情報提供、グループに分かれての情報交換、団体交流

参加者: 73名

(3) ふれあい・いきいきサロンスタッフ研修会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に、サロンでの課題や状況について報告し、今後の活動を円滑に進めていくことを目的に研修会を実施した。

開催日: 2月18日

開催場所: KTXアリーナ

内容: ①ふれあい・いきいきサロンを取り巻く状況と地域づくりを考えるワークショップ

②サロンで活用できるプログラムの紹介

参加者: 60名

(4) 心に病のある方の居場所（フリースペース）づくりの実施

地域において、心に病のある方が気軽に出かけることのできる居場所である「ハートフレンズ」を行政、学識経験者、関係機関・施設・団体、ボランティアと協働体制で実施した。月1回のハートフレンズ運営委員会に参画し、個別対応や運営について協議を行った。また、空色ファクトリーがフリースペース活動として運営する「Honwaka（ほんわか）」の活動を支援した。

*ハートフレンズ（H20. 4～）

開催日：毎週金曜日

開催場所：老人福祉センター

30年度実績：延べ848名（50回開催、平均16.9名）

*ハートフレンズ運営委員会

開催日：毎月第3火曜日

開催場所：江南保健所

協働機関：江南市役所、江南保健所、しらゆり・ワーク、精神障がい者江南家族会・藤花会、精神保健福祉ボランティアグループあい・愛、江南市社会福祉協議会

*Honwaka（ほんわか）（H26. 4～）

開催日：月1回（第1水曜日）

開催場所：老人福祉センター

30年度実績：延べ120名（12回開催、平均10.0名）

(5) 精神障がい者の地域の居場所づくりフォーラムの実施

精神障がい者の地域での居場所づくりの意義を改めて考えるとともに、居場所づくりの必要性についてフォーラムを実施した。

開催日：7月1日

開催場所：江南市民文化会館

内容：第1部シンポジウム「悩みと病の違いって？～4人に1人が悩む心の病とは～」

第2部トークセッション「頑張って！は前向きな言葉！？当事者と交えてしゃべる
ここだけの話

参加者：71名

(6) 外国籍の方の居場所づくりの実施

地域において、外国籍の方々による文化紹介を通じて交流し、お互いに理解を深めることを目的に運営する「ふくらの家」の活動「多文化わいわいプラザ」を支援した。

*多文化わいわいプラザ（H30. 8～） ※30年度新規立ち上げ支援

開催日：月1回（第2月曜日）

開催場所：ふくらの家「はなれ」

30年度実績：延べ191名（8回開催、平均23.8名）

(7) 移送サービスの実施

単独移動困難者を対象に、車いす対応福祉車両にて運転ボランティアの協力を得て実施した。移送サービス事業の環境整備を進めるとともに、運転ボランティア同士や事務局との意見交換を目的に情報交換会を実施した。

実施件数：延べ142件/年 利用者数：延べ259名/年（ヘルパー等同乗者を含む）

*運転ボランティア情報交換会

開催日：12月13日

開催場所：老人福祉センター

参加者：6名

(8) 車いす無料貸出の実施

歩行困難な人等のために、市内在住者を対象とした最長3か月の車いすの無料貸出を行った。

貸出件数：延べ321件/年

（1か月を1回、複数貸出を1件としてカウントし年度またぎは貸出日を基準とした）

3. ボランティアセンター活動事業

ボランティアセンターの機能強化を図り、市民のボランティア活動への理解と参加の促進に努めた。

(1) 登録ボランティアグループへの活動支援

福祉を主たる目的とした登録ボランティアグループ（14団体）の支援と情報提供及びボランティア活動保険の加入促進を実施した。

- ・当事者とボランティアグループの交流会の支援
- ・ボランティアグループの研修支援
- ・ボランティア同士の交流を図るボランティアサロンへの支援

(2) 各種ボランティア関連講座の開催

ボランティアグループの協力により、各種講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。

・点訳講習会の開催

点訳ボランティアグループたまづさ会の協力により、視覚障がい者への情報を点訳するためのボランティアを養成するために開催した。

開催日：5月16日～6月13日（計5回）

開催場所：老人福祉センター

内容：点字の基本的な打ち方について、視覚障がい者との交流

参加者：2名

・聞こえのサポーター教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記ボランティアを養成するために開催した。

開催日：①6月16日～6月30日（4回） ②9月15日～9月29日（3回）

開催場所：老人福祉センター

内容：要約筆記の基本的な方法、難聴・中途失聴者の理解、ホワイトボード作成

参加者：①2名 ②3名

・社協国際婦人の会講座の開催

社協国際婦人の会の協力により、地域における隣人同士のつながりの良さを深めるために、各種講座を開催した。

開催日：①10月26日 ②11月30日 ③3月22日

開催場所：老人福祉センター

内容：①押し花手帳講座 ②及び③健康体操講座

参加者：①24名 ②36名 ③22名

・ボランティア講座（障がい理解）の開催

福祉施設「くるみの里」の協力により、障がい者施設が求めるボランティアの役割や必要性を理解するために開催した。

開催日：①2月21日 ②3月3日

開催場所：くるみの里他

内容：障がい者スポーツ「ボッチャ」を利用者と体験、施設イベントのボランティア体験

参加者：45名

・ボランティアサロンの開催

ボランティア相談員の協力により、登録ボランティアグループの新規会員や代表者を対象に活動のきっかけや想いを語りながら、振り返る場（サロン）を通じて意見交換を行った。

開催日：①2月2日 ②2月5日

開催場所：老人福祉センター

内容：グループに分かれての意見交換

参加者：①8名 ②6名

・ボランティアマルシェの開催 ※30年度新規事業

新たなボランティアの担い手づくり及びボランティアセンターの機能強化を充実させることを目的に開催した

開催日：①10月22日 ②10月23日 ③10月24日 ④10月25日

⑤10月26日 ⑥10月27日

開催場所：地域交流スペースみらい（老人福祉センター内）

内容：①美声講座 ②人形おもちゃづくり講座 ③はじめての手話講座

④高齢者疑似体験講座 ⑤押し花小物づくり講座 ⑥災害時に役立つクッキング講座

参加者：①12名 ②13名 ③15名 ④18名 ⑤19名 ⑥20名

(3) ボランティア相談の実施

ボランティア活動を始めたい人、ボランティアを必要としている人のコーディネートを実施した。ボランティア相談員会議を定期的開催し、情報共有を図るとともに、出張ボランティア相談も実施しボランティア活動及び社協事業の啓発を行った。

相談日時：毎週土曜日の午後1時30分～3時30分

相談件数：17件

(4) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催

西尾張ブロック14市町村社協及びボランティア代表で組織された推進委員会として、西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会のボランティア代表及び社協職員との連携を密にしながら当日のボランティアフェスティバルを盛大に実施した。

開催テーマ：伝われボランティア見つけよう新しい出会い

開催日：12月16日

開催場所：愛西市親水公園総合体育館

内容：オープニングアトラクション「勝幡児童館ヒップホップクラブによるダンス」

午前の部：ボランティア活動紹介ブース、福祉施設製品販売

午後の部：グループワーク「ボランティアって？魅力・楽しみ見つけてみよう」

(5) 江南市災害ボランティアセンターの開設及び運営等に関する協定の締結

地震や風水害等の大規模な災害が発生した場合に江南市災害ボランティアセンターを開設し、ボランティアによる被災者の救援活動を展開するために、市と「江南市災害ボランティアセンターの開設及び運営等に関する協定」を締結した。また災害ボランティアセンターの運営マニュアルを市と防災ボランティア活動者と協働して作成し、市が主催する「江南市災害ボランティアコーディネーター養成講座」の企画運営に協力した。

協定締結日：10月1日

(6) 西尾張ブロック社会福祉協議会災害救援担当者会議への出席

西尾張ブロック管内市町村社協間で締結した「『西尾張ブロック社会福祉協議会』災害救援活動への相互応援に関する協定」に基づき、被災地社協への支援体制や情報共有等に関する会議に出席した。

開催日：①8月29日 ②3月6日

主な議題：①社協災害対応支援部会の報告、災害発生時の連絡方法について、他

②平成30年7月豪雨災害岡山県倉敷市被災地支援ボランティア実施報告

(7) 防災訓練（シェイクアウト）の実施

地震が発生した時にどのような行動を起こすべきか、自身が普段生活している場所は災害時には安全なのか等、防災を身近に感じ、考えるきっかけとするとともに、地域住民、関係団体及び関係機関に周知を行い防災に対する意識高揚のため実施した。

実施日：9月3日

実施場所：老人福祉センター

参加対象：本会職員、江南市社協登録ボランティアグループ、老人福祉センター利用者及び中央コミュニティ・センター利用団体

(8) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター運営委員による課題検討や事業報告、情報共有、意見交換等ボランティアに関わる事項についての協議を年6回開催した。

開催日：①5月26日 ②7月21日 ③9月15日

④11月17日 ⑤1月26日 ⑥3月16日

主な議題：①ボランティアマルシェ事業について等

②ボランティア×ボランティア（リレーインタビュー）の活動報告について等

③江南市災害ボランティアセンターの開設及び運営に関する協定について等

④ボランティアマルシェ事業の結果報告について等

⑤地域福祉懇談会（こうなん井戸端会議）について等

⑥地域交流スペースみらい、ボランティアセンターについて等

(9) ボランティア活動保険の受付等の実施

ボランティア活動者及び行事に係るボランティア保険の受付及び保険請求業務を実施した。

ボランティア保険加入者：2,643名（内登録ボランティアグループ会員：159名）

(10) 備品機材の購入及び貸出業務の実施

地域福祉の向上に寄与することを目的にボランティアグループ及びサロン団体等への貸出業務を実施した。

貸出機材：①綿菓子機1台 ②ポップコーン機1台 ③イベント用テント ④ワイヤレスアンプ

⑤プロジェクター ⑥移動式スクリーン ⑦障がい者スポーツ用品

貸出実績：①8回 ②8回 ③4回 ④14回 ⑤4回 ⑥8回 ⑦35回

4. 共同募金配分金事業

市民からの善意によって集められた共同募金に対し、本会は受配団体として、地域福祉事業の実施や福祉団体への支援、福祉教育の推進、要支援者への援護等、地域福祉の推進に努めた。

また福祉的支援を必要とする方に対し、歳末たすけあい募金や市民福祉基金を活用し、金品（ギフトカード）の配付を行った。配付にあたっては民生委員児童委員にご協力いただいた。またふれあい・いきいきサロンやボランティアグループの歳末事業に配分を実施した。

【地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的推進事業】

(1) 江南市介護予防講演会及び地域福祉推進シンポジウムの開催

地域福祉に関する啓発と地域福祉の推進に向けた機運醸成のため、介護予防講演会及び地域福祉推進シンポジウムを合同開催した。

開催日：1月19日

開催場所：江南市民文化会館小ホール

参加人数：216名

内容：第1部 介護予防講演会

題名：すべての人に、「居場所」と「役割」を…

講師：勝部 麗子氏（大阪府豊中市社会福祉協議会福祉推進室室長）

第2部 パネルディスカッション（事例紹介）及び地域福祉計画の紹介

テーマ：楽しい活動発見！つつい参加したくなる活動紹介

進行：柏原 正尚氏（日本福祉大学准教授）

発表：大森 恭子氏（一般社団法人はーとプロジェクト相談支援専門員）

大野 幸次氏（布袋地区民生児童委員協議会会長）

(2) 地域福祉懇談会（こうなん井戸端会議）の開催

各小学校区の10地域を市内5か所に分けて開催し、小学校区の地域ごとにグループワークを実施し、他地域で行われている地域の支え合い活動等の事例提供についての感想の共有や今後の支え合い活動に向けた議論を行った。

開催日：①1月22日（古南・古西地区） ②1月24日（布袋・布袋北地区）

③1月28日（草井・古北地区） ④1月29日（宮田・藤里地区）

⑤1月31日（古東・門弟山地区）

開催場所：①防災センター ②布袋ふれあい会館 ③草井学供 ④宮田学供

⑤KTXアリーナ

(3) 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会等の開催

地域福祉計画・地域福祉活動計画を一体的に推進するために、進捗管理シートの作成管理、地域福祉シンポジウムや地域福祉懇談会の開催に向けた検討を行った。

会議名：①地域福祉計画推進委員会 ②地域福祉計画推進会議

③地域福祉計画推進部会及び地域福祉活動計画推進部会合同部会

開催日：①8月23日 ②8月7日 ③7月31日及び1月11日

開催場所：江南市役所

【本会事業の広報および情報発信事業の推進】

(1) 機関紙「社協だより」の発行

社会福祉協議会の事業等を市民に周知し、福祉への理解と関心を高めることを目的として年6回発行した。

発行日：①4月1日号（177号） ②6月1日号（178号） ③8月1日号（179号）
④10月1日号（180号）⑤12月1日号（181号）⑥2月1日号（182号）
発行先：市内全戸配布

内 容：平成30年度事業計画・収支予算、平成29年度事業報告・収支決算、理事会・評議員会の開催報告、社協会員募集のお願い、社協事業紹介、各種講座の参加者募集・事業報告、福祉関係団体に関する情報発信、ボランティアグループ同士によるインタビュー企画、生活支援コーディネーターの紹介記事（地域の支え合い事例）等

【高齢者福祉事業の推進】

（1）敬老会及び結婚50年お祝い事業の開催

江南市と共催により敬老会及び結婚50年お祝い事業を実施し、祝い品の贈呈や記念式典を行った。

開 催 日：9月28日

開催場所：江南市民文化会館大ホール

対 象 者：敬老会－75歳の1,375名対象とし、参加者に2枚1組のタオルを贈呈した。

結婚50年－夫婦76組に夫婦湯呑を贈呈した。

（2）満100歳誕生お祝い事業の実施

江南市と共催により祝意を表し、祝い金の贈呈を行った

対 象 者：満100歳を迎えた方15名

（3）高齢者団体への支援

江南市老人クラブ連合会や地区単位老人クラブへの団体活動支援及びスポーツ大会等の事業支援を行った。

（4）江南認知症家族会への支援

認知症の方を介護する家族を中心とした「江南認知症家族会」の活動支援を行った。

【障がい児・者福祉事業の推進】

（1）障がい者の余暇活動支援（青年学級）の実施

ボランティアグループ江南青年学級連絡会の協力を得て、障がい者の余暇活動を支援した。

実施日：隔月1回の日曜日

（2）障がい児・者地域生活支援事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に地域でボランティア・市民活動団体等が資金援助を必要としている事業を公募し助成（公募制地域活動支援事業）を行った後、特に障がい児・者の地域生活支援に対し、継続性が必要な事業の支援を行った。

助成団体件数：2件（視覚障がい者パソコン学習グループありんこ江南、NPO法人のいちご）

(3) 障がい者福祉施設地域交流事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に江南市内の障がい者福祉施設が行う地域住民との交流を目的とした事業に助成を行い、地域における障がい者理解及び福祉施設における地域福祉推進を図ることを目的に実施した。

助成施設件数：4件（ときわ会、くるみの里、しらゆり・ワーク、たけのこ作業所）

【児童・青少年福祉事業の推進】

(1) 江南市子ども会大会における優良子ども会顕彰の実施

江南市子ども会連絡協議会より優良子ども会の推薦を受け、顕彰を実施した。

優良子ども会表彰：後飛保子ども会

(2) 児童公園遊具設置・補修支援事業の実施

区で管理する遊園地（公園）において、申請のあった区に対し、遊具の新規設置や補修に必要な費用を助成した。

助成自治区：中奈良区、上奈良区

(3) 子どもわんぱくキャンプの開催

ボランティアグループ江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会の協力により、青少年育成を目的として小学校4～6年生を対象とした1泊2日のキャンプ（8月）を実施した。

開催日：8月18日～19日

開催場所：夕森公園キャンプ場（中津川市）

参加者：16名

【福祉育成援助事業の推進】

(1) 第10回ふくし江南ふれあいまつりの開催

ボランティアグループ代表を主とした「ふくし江南ふれあいまつり実行委員会」を組織し、福祉関係者、関係機関、市民活動団体等と協働しながら、多くの市民の方々への啓発、交流の場をつくり、ボランティア活動や福祉活動への理解、参加の促進を目的として開催し、「2018江南市民健康フェスティバル」とも同日開催し、盛会となった。

開催日：10月14日

開催場所：市民文化会館 全館

内容：開会式セレモニー、子ども映画上映会、ミニステージ企画、ボランティア活動紹介・体験コーナー、福祉施設・団体紹介コーナー、子どもの遊び場広場、地域包括支援センター紹介コーナー、模擬店、ひだまりカフェ、スタンプラリー等

来場者数：4,000人

(2) ふくし江南ふれあいまつり実行委員会の運営支援

第10回ふくし江南ふれあいまつりの開催のために組織された実行委員会への運営支援を行い、開催準備や円滑な当日運営に寄与した。

開催日：①6月30日 ②8月4日 ③9月8日 ④10月6日 ⑤10月27日

主な議題：①ふくし江南ふれあいまつりの開催要項について

②第10回ふくし江南ふれあいまつりの運営方法、企画内容について

③第10回ふくし江南ふれあいまつりのポスター、チラシについて

④第10回ふくし江南ふれあいまつりの当日運営、準備について

⑤第10回ふくし江南ふれあいまつりの事業報告及び決算について

(3) カフェこ～なん事業の実施

地域でのよもやま話を身近な拠点（喫茶店等）で対話することで地域のつながりを構築することを目的とし、市民活動の中間支援組織である「コミュネット江南」と共催実施した。

開催日：①4月21日 ②5月19日 ③6月16日 ④7月21日

⑤9月16日 ⑥10月20日 ⑦11月17日 ⑧12月15日

⑨2月23日 ⑩3月16日

開催場所：①カフェアンシュルス ②カフェ画廊「音彩」 ③山手珈琲店

④ひやくにんきっさ、⑤喫茶あすなろ ⑥モンテローザ

⑦維納倶楽部 ⑧抹茶文庫 ⑨予約席 ⑩地域交流スペース「みらい」

【福祉教育事業の推進】

(1) 江南市社会福祉協力校事業の実施

江南市内小学校10校、中学校5校、江南高等学校、尾北高等学校、古知野高等学校、愛知江南短期大学を指定し、社会福祉体験活動を中心に取り組んだ。

(2) 福祉教育プログラム開発モデル事業の実施

江南市社会福祉協力校を対象に福祉教育プログラム開発を目的とし、門弟山小学校、布袋小学校、布袋北小学校、古知野東小学校を研究モデル校とし、「ふくし学習」のサポートを実施した。

プログラム内容：総合的な学習の時間におけるふくし学習プログラムサポート事業

研究指定校：門弟山小学校1～6年生、布袋小学校4年生、布袋北小学校5年生、古知野東小学校4年生

指定期間：1年間

(3) 福祉実践教室の開催

学校における福祉体験活動メニューとして、学校からの依頼を受け、講師派遣の調整を実施した。

科目及び実施回数：車いす8回、手話12回、要約筆記4回、点字10回、視覚障がい者ガイド10回、盲ろう者通訳ガイド5回、高齢者疑似体験10回、知的障がい者理解促進軽スポーツ2回

実施校及び参加生徒数：延べ12校 延べ2,524名

(4) 夏休み福祉体験学習事業（短期ユースアクション事業）の実施

中学生・高校生を対象に夏休みに市内の福祉施設やボランティア活動などの福祉体験学習を実施した。

参加人数：延べ404名

(5) 子ども福祉塾の実施

小学校4～6年生を対象に車いす体験ツアーや福祉施設での当事者交流等の地域における福祉教育プログラムを実施した。

開催日：①9月9日 ②10月28日 ③11月18日 ④12月19日
⑤1月27日 ⑥2月17日 ⑦3月10日

内容：①ふくして？暗闇の世界から考えよう（協力者：子ども福祉塾ホーター）
②物語を想像しながら自分の事について考よう（協力者：子ども福祉塾ホーター）
③車いすの方と一緒にクイズと買い物を体験しよう（協力者：くるみの里）
④お年寄りになって街探検しよう（高齢者疑似体験）（協力者：さくら会）
⑤障がいのある方と料理を通して交流（協力者：たけのこ作業所）
⑥人形劇の劇を公演してみよう（協力者：人形劇グループわらしべ）
⑦町中ウォークラリーで江南市の歴史を探してみよう（協力者：江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会）

参加者：13名

(6) こうなんDayこどもフェスティバルへの参加

江南市とこどもフェスティバル運営協議会が主催したこどもフェスティバルに、江南市身体障害者福祉会聴覚部及びくるみの里の協力を得て、福祉体験ブースを開設した。

開催日：5月27日

開催場所：すいとびあ江南

内容：①手話で話そう（手話サークルあけぼの会、こけしの協力）
②車いすに乗ってみよう（くるみの里の協力）
③文字や絵で伝えよう（要約筆記サークル藤の協力）

体験者：①322名 ②580名 ③132名

(7) 介助犬PR事業の実施

社会福祉法人日本介助犬協会総合訓練センターに協力を依頼し、児童を対象に介助犬PR犬及び職員を市内小学校に招き、デモンストレーション等を実施した。

開催日：11月28日、29日、1月18日、23日、24日（計5日間）

実施校：古知野東小学校（3年生124名）、古知野南小学校（4年生140名）、古知野北小学校（4年生90名）、布袋小学校（4年生144名）、布袋北小学校（5年生70名）、宮田小学校（5年生117名）、草井小学校（3年生58名）、藤里小学校（5年生67名）、門弟山小学校（4年生75名）（計9校）

※古知野西小学校はインフルエンザによる学級閉鎖のため開催中止

内容：身体障がい者補助犬等の講話、介助犬PR犬によるデモンストレーションの実施

【社会的支援が必要な方への相談・援護事業及び市民生活の支援】

(1) 無料法律相談の実施

高齢者と障がい者を対象とし、主に権利擁護を中心とした弁護士による無料法律相談を実施した。

相談件数 高齢者：15件 障がい者：2件

(2) 火事見舞金の支給

火事によって全焼及び半焼の被害があった世帯に対し見舞金の支給を行った。

支給件数：4件（全焼3件、半焼1件）

【歳末たすけあい配分金事業】

市民からの善意によって集められた歳末たすけあい募金に対し、本会は受配団体として社会的支援が必要な方への生活支援、地域交流事業及びボランティアやふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

(1) 高齢者ふれあい食事会の開催

ひとり暮らし高齢者等の見守りが必要な方を参加対象とし、食事会を通じて参加者同士や民生委員との交流を図り、閉じこもり防止や生きがいを促すことを目的に開催した。30年度から全ての民協地区（8地区）での食事会を開催した。余興では保育園児等と交流を行った。

開催日：①11月15日 ②12月5日 ③12月20日 ④1月12日
⑤1月18日 ⑥1月25日 ⑦1月31日

開催場所：①老人福祉センター ②ケアハウスふじの郷 ③布袋ふれあい会館
④愛知江南短期大学 ⑤老人福祉センター ⑥第2サンライフ江南
⑦すいとびあ江南

参加者数：①72名（古知野第一地区民協） ②17名（古西地区民協）
③79名（布袋地区民協） ④62名（古東地区民協・古北地区民協）
⑤73名（古知野第一地区民協） ⑥37名（宮田地区民協）
⑦88名（草井地区民協・藤ヶ丘地区民協）

(2) ひとり親家庭世帯児童への新入学・卒業者支援事業の実施

入学や進学等を控えるひとり親世帯に対し、経済的負担を支援し児童の健全育成を支援することを目的に実施した。

対象者：小学校入学49名 中学校入学39名 中学校卒業52名

(3) ボランティアグループ及びふれあい・いきいきサロン事業への助成

ボランティアグループ及びふれあい・いきいきサロン団体が行う歳末事業へ助成を行った。

配分件数：ボランティアグループ 1件

ふれあい・いきいきサロン団体 28件

(4) 知的・肢体不自由児者クリスマス会への支援

障がいのある児童等への支援として障がい者団体等が実施するクリスマス会事業への支援を行った。

対象者：① 35名（江南市肢体不自由児者父母の会）

② 85名（江南市手をつなぐ親の会）

(5) こうなん福祉フェア事業への支援

市内の福祉サービス事業者の実行委員会で組織する「こうなん福祉フェア実行委員会」が開催した「こうなん福祉フェア」に対し、デイサービスや就労支援等の福祉サービスの啓発を通じて社会参加を促すことを目的として支援を行った。

開催日：1月19日

開催場所：江南市民文化会館展示室及び第1会議室

(6) 生活保護世帯児童への給付金事業の実施

生活保護世帯の児童を対象に年末の経済的負担を減らし、児童の健全育成を支援することを目的として実施した。

対象者：43名

5. 福祉センター管理事業

指定管理者として江南市老人福祉センター（1階）及び江南市中央コミュニティ・センター（2階）の適切な管理・経営を実施した。

(1) 老人福祉センター（1階）の利用状況

江南市内に居住する60歳以上の方が利用でき、健康の増進や教養の向上、老人クラブ等の地域間クラブ交流により、生きがいの場をつくることを目的に、老人福祉センターの会館管理を行うとともに、利用者ニーズを把握し施設利用の改善に努め、適切な管理・経営を行った。

区分	個人	19,563名	1日平均	91.4名	開館日数	346日
	団体	12,072名				
	合計	31,635名				

(2) 中央コミュニティ・センター（2階）の利用状況

各種コミュニティ組織による活動を活性化し、地域住民が快適で健全な日常生活が過ごせるような生活環境の整備、向上に資することを目的に中央コミュニティ・センターの会館管理を実施し、適切な管理・経営を行った。

(単位：名)

会場	第1和室	第2和室	会議室1	会議室2	講習室	実習室	計
計	7,169	7,328	12,062	13,384	8,757	15,930	64,630
1日平均	20.0	20.5	33.7	37.4	34.9	44.5	180.5

開館日数：358日

※講習室は12月1日から「江南地区更生保護サポートセンター」となったため11月30日までの利用集計（251日）とした

(3) 老人福祉センター健康相談実績

老人福祉センターに看護師を配置し、希望する利用者の血圧測定等を実施するとともに健康に関する相談を行った。

合計	4,382名	1日平均	12.7名	健康相談日数	346日
----	--------	------	-------	--------	------

(4) 足腰弱らん教室の実施

原則65歳以上の高齢者を対象とした健康体操教室を自主事業として実施した。

実施日時：毎週火曜日及び木曜日（第5週を除く）9時30分～10時30分

実施場所：老人福祉センター 大広間

開催回数：94回

参加延べ人数：5,640人（1回平均 60.0人）

講師：鈴木浩樹 氏（ローズ・リボン）

6. 訪問介護事業

介護保険法、障害者総合支援法に基づく訪問介護員（ホームヘルパー）によるサービス提供を実施し、利用者の地域自立生活の支援を行った。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業実績

介護保険制度の介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型独自サービス及び訪問型定率サービスを実施した。

(単位：名、時間)

訪問型独自サービス		訪問型定率サービス		合計	
人数	派遣時間	人数	派遣時間	人数	派遣時間
603	2854:45	135	426:45	738	3281:30

(2) 介護保険 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業実績

介護保険の要介護の認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の利用状況。

(単位：名、時間)

人数	派遣時間
507	7749:14

(3) 障害福祉サービス事業 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業実績

身体・知的障がい児、者及び精神障がい者の方が江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の状況。

(単位：名、時間)

訪問介護員（ホームヘルパー）派遣時間						合計	
身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	重度訪問	同行援護	移動支援	人数	派遣時間
252:50	1447:40	716:40	0:00	0:00	5:50	227	2423:00

(4) 母子家庭等日常生活支援事業（ホームヘルパー派遣）事業実績

母子家庭や父子家庭（ひとり親家庭）に日常生活を営むのに支障が生じている場合、家庭生活支援員を派遣しその生活を支援し、母子家庭等の生活の安定を図ることを目的とし、市よりの委託事業として実施したが、利用実績は無かった。

(5) 処遇改善事業の実施について

訪問介護員（ホームヘルパー）の処遇改善を実施した。

処遇改善の内容 ①賃金改善（一時金の支給 6月・12月）

②訪問介護員の処遇 教育、研修、職場環境等の改善

研修内容：リスクマネジメント・ヒヤリハット研修、熱中症予防、個人情報保護・利用者のプライバシー保護、応急手当、感染症、生活習慣病、口腔ケア、高齢者虐待、技術指導について等

7. 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、介護支援専門員（ケアマネジャー）がケアマネジメントを実施し、ケアプランの作成等の居宅介護支援を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

(1) 介護保険 居宅介護支援事業実績

介護保険の要介護認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の居宅介護支援（ケアプラン作成、ケアマネジャー業務）のサービスを利用された方の月別の利用状況。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防	29	27	27	31	33	32	31	32	33	32	33	35	375
介護保険	103	103	103	101	99	99	104	100	97	99	97	95	1,200
計	132	130	130	132	132	131	135	132	130	131	130	130	1,575

(2) 市受託事業

◎介護保険 訪問調査事業実績（介護保険認定審査会の第一次判定資料作成業務）

・江南市 年間延べ 18件

(3) 愛知県介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ

愛知県社会福祉協議会福祉人材センター依頼を受け、会議支援専門員資格取得のため現場実習の受け入れを行い、指導評価を実施した。

受け入れ実習生：4名

受け入れ日数：1名あたり3日

8. 障害者相談支援センター事業

障がいのある方やその家族が、生活の中で直面する様々の課題に対する解決方法等について、相談者と一緒に考え、改善のための方法が見つけれられるよう支援を行った。

(1) 江南市基幹相談支援センター事業の一部受託

江南市が設置する江南市基幹相談支援センター事業の障がい児・者相談支援業務を一部受託し、障がいがあっても安心して地域で暮らせるよう、福祉サービスに関する情報提供や権利擁護に関する相談支援を行った。

○相談支援利用者：136名（障がい者135名 障がい児1名）

○支援方法

(単位：件)

訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	計
553	737	30	1,617	9	65	1,035	4,046

○支援内容

(単位：件)

福祉サービス利用支援	健康・医療に関する支援	不安解消情緒安定に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	家族関係、人間関係に関する支援	計
1,371	712	238	1,856	1,013	69	69	1,426	657	7,411

(2) 障害福祉サービス等の利用計画の作成

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障がい児・者が給付サービスを利用する際にはサービス等利用計画の作成が必要になり、障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、作成を行った。

サービス等利用計画作成実績：63件

9. 権利擁護推進事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の自己判断能力が不十分な方等が権利侵害されることなく、自らの能力に応じてできる限り地域で自立した生活が送れるよう支援を行った。

(1) 江南市成年後見センターの運営

高齢者や障がい者等の権利擁護として、江南市成年後見センターの適正な運営を実施した。

<江南市成年後見センターの事業内容及び活動状況>

低所得者層の高齢者や障がい者で身寄りがなく、自己判断能力が不十分になった方への権利擁護のための支援を行った。

- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用による相談及び手続に関する支援
- ・市長申立の事務支援
- ・法人後見人等の受任
- ・成年後見制度等の普及、利用の啓発
- ・その他センターの運営に関し、必要な事業

法人後見の新規受任	2件
後見人等業務	14件
成年後見制度に関する相談	32件
後見制度の普及・啓発	1件
法人後見の受任終了	2件

(2) 日常生活自立支援事業の実施

日常生活に不安を抱え、自己判断能力が乏しい方への権利擁護として、金銭・書類管理を行う「日常生活自立支援事業」を愛知県社協から事業受託し、江南市内の利用者への支援を行った。

利用者（契約者）数：43名 生活支援員：15名 利用件数：延べ44件

10. 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援制度の施行に伴い、平成27年度から市行政より「自立相談支援事業」を受託し、生活困窮者への包括的かつ継続的な相談支援体制の整備及び生活困窮者支援を通じた地域づくりに努めた。

(1) 自立相談支援事業実績

経済的困窮（生活保護を除く）や社会的孤立に陥っている方に対し、支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者とともに考え、自立に向けた支援を行った。

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談受付	5	11	9	9	4	8	8	12	4	8	4	8	90
就労者数	1	4	1	2	1	0	1	1	1	1	2	0	15

(2) フードバンク活用支援事業の実施

NPO 法人セカンドハーベスト名古屋と協定を結び、生活困窮等生活上の困難に直面している江南市民に対して、食糧支援を通じ、生活の立て直しを図ることを目的に実施した。

事業実績：36件

1 1. 資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、生活福祉資金制度等の相談窓口として、低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯、離職者世帯への支援を行うとともに、本会が実施する一時援護金貸付事業を通じて、生活困窮者への支援を行った。

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯への各種資金の貸付と民生委員児童委員の協力による生活指導の実施を行った。

貸付件数：2件 現在の貸付件数：52件（内 総合支援資金：24件）

相談件数：107件

(2) 一時援護金貸付事業の実施

一時的に生活費に困っている方に1万円（最高2万円）の貸付を行い、面接調査や生活指導を実施し、貸付対象者の生活状況の把握や自立支援に努めた。

貸付件数：19件 相談件数：61件

1 2. 市民福祉基金事業

相互扶助の高揚と寄付の啓発を図るとともに、市民福祉基金の有効な運用や活用に努めた。

寄付件数：24件

寄付金額：1,135,390円